



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

四月 第③週

〈ヤドカリ探検隊〉





みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
印刷やダウンロードができます。



お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
 2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
 3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

① 授業で使う文章を印刷してください。



印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



JPN Class
Online school - 日本語で学ぼう

お知らせ YouTube 授業 オンライン授業 講演会・セミナー
講師プロフィール ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

ようこそ JPNC Class へ

JPNClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業 (Zoom)、ビデオ (Youtube)を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。



印刷の仕方

3. 小5国語 4月第3週 〈スライド (PDF)〉をクリックしましょう。



JPN Class
Online school - 日本語で学ぶ

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

YouTube 授業

小学5年生 国語： [〈YouTube チャンネル 小5国語〉](#)

- 小5国語 9月第1週 [〈YouTube ビデオ〉](#) [〈スライド \(PDF\)〉](#)
- 小5国語 9月第2週 [〈YouTube ビデオ〉](#) [〈スライド \(PDF\)〉](#)
- 小5国語 4月第1週 [〈YouTube ビデオ〉](#) [〈スライド \(PDF\)〉](#)
- 小5国語 4月第2週 [〈YouTube ビデオ〉](#) [〈スライド \(PDF\)〉](#)
- 小5国語 4月第3週 [〈YouTube ビデオ〉](#) [〈スライド \(PDF\)〉](#)

25 20 16 10

わたしは、初めて「ヤドカリ探検隊」という題名を見たとき、ヤドカリをさがす話なのかなと思いました。でも、最後の方の浩と守の会話を読んで、ああそういうことなのかとびっくりしました。確かに、ヤドカリは貝から頭を出して、浩と守もテントから顔を出しているから、とても似ています。それをヤドカリ探検隊という守はすごいと思いました。最初、守が流木拾いのときに、ヤドカリに出会います。そのときは、あまりヤドカリのことが書かれていません。でも、

ヤドカリ探検隊ってなに

石尾 香苗

友だちの作文

わたしたちは、本を読む中で、日常生活では出会えないさまざまな世界にふれることができます。「ヤドカリ探検隊」には、浩と守の兄弟が、沖縄の無人島でキャンプをしたことがえがかれていました。二人はそこでめずらしい体験をし、心おどる時を過ごします。

この物語を読んで、どんな世界にふれることができましたか。感じたことや考えたことを書きましょう。



4.  がついているページを印刷しましょう。

②必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具（赤ペン、赤えんぴつも必要）

③気をつけること

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。
- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・必要があるときは、ビデオを止めた
り、もう一度ビデオを見たりしてく
ださい。

- ・授業で使っているスライドを、印刷した
い人は、①と同じように **Webページ**

<http://JPNClass.com>

からできます。

先週の宿題

1. 漢字

漢字テストでできなかった漢字を中心に、漢字の復習をしましょう

2. 音読

「ヤドカリ探検隊」を読みましょう。

3. 言葉の学習

次の文で、登場人物の様子をもっとぴったり表した言い方にするには、一線の言葉をどれに変えるといいでしょう。

① わたしの妹は、運動会で一位になったので、とく
いになっています。

ア いばりくさっています。 イ うれしそうです。

ウ 鼻たかだかです。

② うちの父は、帰ってくると、ねころんでテレビばかり
見ている。

ア ペタンとねころんで イ ころんと横になったまま
ウ どしんところがつて

③ 母は、いつも、よけいなことを言う。

ア 言わなくていいようなことばかり イ 耳のいたい
ウ たいへんためになることを言う。



島の港から、漁船でほんの十分ぐらい走っただけなのに、
 浩と守の兄弟には、それが絶海の孤島のように思えた。なに
 せ、正真正めいの無人島なのだ。

小学校六年の浩と四年の守は、勇三おじさんと、ここで一
 晩キャンプをすることになっている。

「さあ、船はここまでしか行けないから、あとは水の中を歩
 いて荷物を運ぶんだ。」
 勇三おじさんが、元気のいい声で言った。

海の中に入ると、水は浩のこしの上、守のむねの辺りまで
 あった。頭の上に段ボールの箱をのせて、たくさんのキャン
 プ道具を運ばなければならぬ。でも、むねまで水につかっ
 た守は荷物を運ぶどころか、転ばないように進むだけでも大
 変だった。海の底には、ところどころ岩が出ているし、休み
 なく動く波が、守の体をぐらぐらさせる。

なんとか五回の往復で荷あげの仕事が終わり、漁船はさつ
 きまでいたザマミ島にもどっていった。ザマミ島では、勇三
 おじさんの知り合いの民宿に一泊した。テレビもあったし、
 おふろもあったし、夜には花火もできたけれど、今日は無人
 島だから、電気もないのだ。

「あの船がむかえに来なかったら、ぼくたちはどうなるのか
 な。」
 小さくなっていく船を見送りながら、守がいくらか心細げに
 言った。

《新しい漢字》 《新しい読み方をする漢字》

探検隊

絶海

孤島

往復

「ロビンソン・クルーソーになればいいじゃないか。さあ、おじさん、テントを張ろうよ。」
浩が元気よくいった。

七月の沖繩おきなわの太陽は、真っ白なすなはまのあちこちで、ばくはつしているみたいに光っている。

前の晩にテントの張り方を練習したのに、勇三おじさんにいろいろ教えてもらわないと、守には順番がよく分からない。おじさんは、たけの低い枝葉のたくさんしげった木の下に、すいじ道具を広げている。

「テントが張れたら、二人ですなはまの流木を拾ってこい。それがないと、昼飯が食べられないぞ。」
勇三おじさんは、島に着いたとたん、人使いが荒くなつた。

流木は、はまのあちこちに転がっていた。みんな白くて、すべすべしている。びんのかけらや動物のほねのようなものもあつた。すなはまのあちこちに、用心深くちよろちよろ動くものがいる。

ヤドカリだった。守はおもしろくて、流木を拾うこともわすれてヤドカリの後を追った。

「こら、守。遊んでないで、ちゃんと運べ。」
20
浩が大きな声を出した。

《言葉の意味》

ロビンソン・クルーソー…イギリスの小説の主人公の名前。無人島に流れ着き、そこで三十年近くも生活した。

《新しい漢字》

張るは 枝葉えだ





勇三おじさんは集めてきた流木に火をつけ、手ぎわ良くフライパンで料理を作り始めた。大学時代を沖縄で過ごしたおじさんは、沖縄料理がとくいだ。今は気象庁ちようの仕事をしているから都会生活だけれど、いつかまた沖縄でくらしたいとお母さんに言っているのを、守は何度か聞いたことがある。

「いいか。うまくてうまくて、笑いたくなるようなソーミン
ーチャンプルーを作つてやるからな。」

勇三おじさんのフライパンの中で、ゆでたソーメンとマグロのかんづめがジュウジュウいつてかき回されている。これにベニシヨウガをのせると、もう完成だ。

「チャンプルーというのは、いためものつて意味だ。さあ、できた。二人とも、この木の下にすわれ。」

たけの低い木は、**モンパ**という名前らしい。細い枝がぐねっているところに、フライパンやいろんな食器をぶら下げておけるから、何かと便利なのだ。それに、葉っぱが大きいので、ちようどいい日かげになる。

「おじさんの友達は、この木を『昼ねの木』とよんでいた。この辺りの島にたくさん生えているありがたい木だよ。」

勇三おじさんのソーミンーチャンプルーは、本当に笑いたくなるほどうまかった。守はベニシヨウガが少し苦手だったが、その日はいつもよりおいしく感じられて、めずらしく残さず全部食べてしまった。

《言葉の意味》

ソーミン…そうめんのこと。

モンパ…モンパノキのこと。種子島より南の海岸に生える。枝は太く、はい色の毛が生えている。

《新しい漢字》 《新しい読み方をする漢字》

過ぎす



ひと休みした後、勇三おじさんは、波の打ち寄せる岩場の内側に広がるタイドブルーへ二人を連れていった。岩しようの中に、自然のプールのように水がたまっている安全な所だ。三人が近づいていくと、小さな魚やカニたちがいつせいに動くのが分かった。

「あの魚はきつとギンポだな。フジツボやカメノテで手や足を切らないようにしろよ。」

勇三おじさんは、この辺りの海のことならなんでも知っているようだった。このタイドブルーには、いたる所に小さな貝がいて、小エビが後ろとびに走ったり、イソギンチャクがおどるように身をゆらしていたりして、見ているだけでもあきなかった。

守は、岩の下で、また大きなヤドカリを見つけ、まき貝の中でじつと手足をちぢめていた。じつと15
るのを、おもしろがってながめていた。じつと15
として見てみると、辺りの様子をうかがうように手足をじわじわ出してくる。守は、ヤドカリにも顔があるのを知ってうれしくなった。
「さあ、そろそろ夕食のしたくだ。」
いつの間にかやって来たのか、浩と守の後ろで、20
勇三おじさんのでっかい声が出た。



《言葉の意味》

ギンポ…二十センチメートルぐらいになる細長い魚。

フジツボ



カメノテ



《新しい漢字》

《新しい読み方をする漢字》

打ち寄せる

岩しよう





まだ昼のように明るかったけれど、五時になると、早くも夕食のしたくを始めなければならぬ。浩と守は、夜のキャンプファイア用の流木拾いをしてから、ほらあなの岩のすき間から流れ出ている水をポリタンクに入れ、二人して休み休み運んだ。勇三おじさんは、モンパの太い枝にランプをつけるし、暗くなったらいつでもつけられるようにした。

5

夕食はまたチャンプルーだった。船で運んできたナスやキュウリなどの野菜にイカや貝を混ぜて、ジュウジュウ景気のいい音を立てていた。勇三おじさんがすもぐりですてきたサザエとウニは、焼いて食べる。バテイラという名の三角形の貝は、おいしいしるにしてくれた。

10

「うわあ。」

たき火に向かって、ヤドカリがいくつもいくつも進んでくるのを見つけて、守がかん声を上げた。ヤドカリたちはあらかじめ相談でもしていたように、きっちり進む方向をそろえて、おどろくほどしつかりした足どりで進んでくる。

15

「すごい、すごい。ヤドカリの行進だ。どうしてみんなここに集まってくるのかな。ヤドカリもたき火に当たりたいのかな。」

20

守はうれしくてたまらない。

「明るい所が好きなのかな。おじさんも、こういうのは初めて見たよ。」

《言葉の意味》

バテイラ…五センチメートルぐらいの、黒いまき貝。

《新しい漢字》 《新しい読み方をする漢字》

野菜さい 混ぜるま





勇三おじさんもおもしろそうだった。

「ヤドカりはな、大きくなると、今しよっている貝よりももう少し大きい貝がらを見つけて引っこしするんだ。そうして、その新しい貝がらの大きさに合わせて、もうひと回り大きくなつていくんだよ。」

勇三おじさんは、声をひそめるようにして言った。まるでヤドカりに聞かせないようにしているみたいで、守にはそれがおかしかった。

八時には、浩も守もテントの中に入るように言われた。頭の上にはちまきみたいにくくり付ける勇三おじさんのヘッドランプを借りて、二人は波打ちぎわで歯みがきをした。海の水はとても塩からくてせきこみそうだったけれど、歯をすすいではき出すと、気持ちがすつとした。

テントにもどるとき、頭の上が一面の星空になっているのに気がついた。浩と守は、テントの入り口から顔だけ出して星の空をながめ、海の音を聞いた。勇三おじさんは、たき火のそばでウイスキーを飲んでいいる。

「テントの中から顔だけ出してながめているのは、ヤドカリとちよつと似ているね。」

と、守は浩に言った。

「ああ、ぼくたちは、ヤドカリ探検隊だ。」

浩が力強く答えた。

「そうだ、ぼくたちは、ヤドカリ探検隊だ。」

守もうれしくなつて、そう言った。

テントの中には電気もないし、テレビもないけれど、民宿で見たときよりも、もつとたくさんの星が頭の上に広がっている。守は、こっちのほうがきれいだな、と思った。そして、来年はヤドカリみたいになんか少し大きくなって、無人島でまたこんなふうにかンパプしたいと思った。

まとめの問題

島の港から、漁船でほんの十分ぐらい走っただけなのに、
浩ひろしと守まもるの兄弟には、それが絶海の孤島のように思えた。なにせ、
㊦ 正真正正まことまことめいの無人島なのだ。

小学校六年の浩と四年の守は、勇三ゆうぞうおじさんと、① ここで一
晩キャンプをすることになっている。

「さあ、船はここまでしか行けないから、あとは水の中を歩いて荷物を運ぶんだ。」
勇三おじさんが、元気のいい声で言った。

海の中に入ると、水は浩のこしの上、守の② の辺りまであった。頭の上に段ボールの箱をのせて、たくさんのキャンプ道具を運ばなければならぬ。でも、むねまで水につかった守は荷物を運ぶ③ 、転ばないように進むだけでも大変だった。海の底には、ところどころ岩が出ているし、休みなく動く波が、守の体をぐらぐらさせる。

(1) ー線㊦「正真正正めい」の意味はどれでしょう。

ア 言葉で表すこと。 イ いつわりのないこと。
ウ あきらかであること。 エ たとえていうこと。

(2) ㊦にあてはなる言葉はどれでしょう。

ア くせに イ せいで
ウ みたいに エ どころか

(3) ー線①「ここ」が指ししめすものとして適切なものはどれでしょう。

ア 島の港から船で10分くらい走った所。
イ 絶海の孤島のように思えた島。
ウ キャンプ場。

(4) ②に当てはまる言葉を文章中から書きぬきましょう。

() ()



なんとか五回の往復で荷あげの仕事が終わり、漁船はさつきまでいたザマミ島にもどっていった。ザマミ島では、勇三おじさんの知り合いの民宿に一泊した。テレビもあったし、おふろもあったし、夜には花火もできたけれど、今日は無人島だから、電気もないのだ。

「あの船がむかえに来なかったら、ぼくたちはどうなるのかな。」

小さくなっていく船を見送りながら、守がいくらか心細げに言った。

「ロビンソン・クルーソーになればいいじゃないか。さあ、おじさん、テントを張ろうよ。」

浩が元気よくいった。

七月の沖繩の③太陽は、真っ白なすなはまのあちこちで、ぼくはつしているみたいに光っている。

④前の晩にテントの張り方を練習したのに、勇三おじさんいろいろ教えてもらわないと、守には順番がよく分からないう。おじさんは、たけの低い枝葉のたくさんしげった木の下に、すいじ道具を広げている。

(5) ー線③「太陽は、真っ白なすなはまのあちこちで、ぼくはつしているみたいに光っている」の様子を説明しましょう。

(6) ー線④「前の晩」、三人がいた場所を説明しましょう。



島の港から、漁船でほんの十分ぐらい走っただけなのに、
浩ひろしと守まもるの兄弟には、それが絶海の孤島のように思えた。なにせ、

㊦ 正真正正の無人島なのだ。

小学校六年の浩と四年の守は、勇三ゆうぞうおじさんと、① ここで一
晩キャンプをすることになっている。

「さあ、船はここまでしか行けないから、あとは水の中を歩いて荷物を運ぶんだ。」

勇三おじさんが、元気のいい声で言った。

海の中に入ると、水は浩のこしの上、守の② の辺りまであった。頭の上に段ボールの箱をのせて、たくさんのキャンプ道具を運ばなければならない。でも、むねまで水につかった守は荷物を運ぶ③ 、転ばないように進むだけでも大変だった。海の底には、ところどころ岩が出ているし、休みなく動く波が、守の体をぐらぐらさせる。

(1) ー線㊦「正真正正」の意味はどれでしょう。

ア 言葉で表すこと。 イ いつものないこと。

ウ あきらかであること。 エ たとえていうこと。

イ

(2) ㊦にあてはなる言葉はどれでしょう。

ア くせに イ せいで

ウ みたい エ どころか

エ

(3) ー線①「ここ」が指ししめすものとして適切なものはどれでしょう。

ア 島の港から船で10分くらい走った所。

イ

イ 絶海の孤島のように思えた島。

ウ キャンプ場。

(4) ②に当てはまる言葉を文章中から書きぬきましょう。

(むね)



なんとか五回の往復で荷あげの仕事が終わり、漁船はさつきまでいたザマミ島にもどっていった。ザマミ島では、勇三おじさんの知り合いの民宿に一泊した。テレビもあったし、おふろもあったし、夜には花火もできたけれど、今日は無人島だから、電気もないのだ。

「あの船がむかえに来なかったら、ぼくたちはどうなるのかな。」

小さくなっていく船を見送りながら、守がいくらか心細げに言った。

「ロビンソン・クルーソーになればいいじゃないか。さあ、おじさん、テントを張ろうよ。」

浩が元気よくいった。

七月の沖縄の③太陽は、真っ白なすなはまのあちこちで、ぼくはつしているみたいに光っている。

④前の晩にテントの張り方を練習したのに、勇三おじさんいろいろ教えてもらわないと、守には順番がよく分からないう。おじさんは、たけの低い枝葉のたくさんしげった木の下に、すいじ道具を広げている。

(5) ー線③「太陽は、真っ白なすなはまのあちこちで、ぼくはつしているみたいに光っている」の様子を説明しましょう。

太陽の光線が、真っ白いすなはまのあちこちに強く反射して、まぶしく光っている様子。

(6) ー線④「前の晩」、三人がいた場所を説明しましょう。

ザマミ島の、勇三おじさんの知り合いの民宿。



わたしたちは、本を読む中で、日常生活では出会えないさまざまな世界にふれることができます。「ヤドカリ探検隊」には、浩と守の兄弟が、沖縄の無人島でキャンプをしたことがえがかれていました。二人はそこでめずらしい体験をし、心おどる時を過ごします。

この物語を読んで、どんな世界にふれることができましたか。感じたことや考えたことを書きましよう。



友だちの作文

ヤドカリ探検隊ってなに

石尾 香苗

わたしは、初めて「ヤドカリ探検隊」という題名を見たとき、ヤドカリをさがす話なのかなと思いました。でも、最後の方の浩と守の会話を読んで、ああそういうことなのかとびっくりしました。確かに、ヤドカリは貝から頭を出している、浩と守もテントから顔を出しているから、とても似ています。それをヤドカリ探検隊という守はすごいと思いました。最初、守が流木拾いのにときに、ヤドカリに出会います。そのときは、あまりヤドカリのことが書かれていません。でも、夕食を作っているとき、たき火に向かって来るヤドカリの行進を見つけたとき、ヤドカリのことがたくさんかかれています。ヤドカリのことがよくわかって、なんだかドキドキしました。ヤドカリが、たき火に向かって行進することがあることは、勇三おじさんも知らなかったと言っています。きつとめずらしいことで、こんな行進が見られて、浩や守は運がいいと思います。生き物は、火がきらいなはずなのに、すごいなあと感心しました。



それから、勇三おじさんがヤドカリについて説明してくれた、「ヤドカリはな、大きくなると、今しよっている貝よりももう少し大きい貝がらを見つけて引っこしするんだ。そうして、その新しい貝がらの大きさに合わせて、もうひと回り大きくなつていくんだよ。」は、もう知っていたことだったけれど、この話の中で聞くと、ヤドカリってすごいなあと感心しました。

勇三おじさんが作ったソーミンチャンプルーのことも、とても面白いと思いました。ソーミンはソーめんに似ているなど思ったら、やっぱりそうめんのことだったのびっくりしました。浩たちは昼食も夕食もソーミンチャンプルーで、ちよつとあきないのかなあと思いました。でも、いっしょにいたためる物が全然ちがうので、きつと味においも全部ちがつて、あきたりしないんだらうなあと思いました。特に、夕飯のソーミンチャンプルーは、本当においしそうで食べてみたいです。

かんたん

簡単にできそうなので、わたしも作つてみたいと思います。その時は、勇三おじさんが作った、イカや貝とたくさん野菜を入れて作りたいです。

沖縄の海はきれいそうだし、おいしい食べ物もありそうなので行ってみたいところの一つです。その時は、浩や守のようなキャンプもしたいです。でも、無人島は少しこわいので、ふつうの島でいいです。



石尾さんの作文を読み取ろう

- (1) 石尾さんは主に二つのことについて書いています。何と何でしょう。
() () ()
- (2) 最初「ヤドカリ探検隊」という題名を見たとき、石尾さんはどういうお話だと思いましたか。
- (3) 1枚目24行目「浩や守は運がいい」とありますが、それはなぜですか。
- (4) 2枚目7行目「ヤドカリってすこいなあと感心しました」とありますが、何がすごいと思ったのですか。
- (3) ソーミンチャンプルーを昼ご飯と夕ご飯、2回食べてもあきない理由はなんだと言っていますか。
- (4) 石尾さんが作りたいたいソーミンチャンプルーは、どんなソーミンチャンプルーですか。

では、書いてみましょう。



- (1) 石尾さんは主に二つのことについて書いています。何と何でしょう。
(ヤドカリ) (ソーミンチャンプル)
- (2) 最初「ヤドカリ探検隊」という題名を見たとき、石尾さんはどういうお話だと思いましたか。
ヤドカリをさがす話
- (3) 1枚目24行目「浩や守は運がいい」とありますが、それはなぜですか。
ヤドカリが、たき火に向かって行進するのを見ることができたから。
- (4) 2枚目7行目「ヤドカリってすこいなあと感心しました」とりますが、何がすごいと思ったのですか。
ヤドカリは、大きくなると、今しよっている貝よりももう少し大きい貝がらを見つけ引っこしする。そして、新しい貝がらの大きさに合わせて、もうひと回り大きくなっていく。
- (3) ソーミンチャンプルを昼ご飯と夕ご飯、2回食べてもあきない理由はなんだと言っていますか。
いっしょにいためる物が全然違うから
- (4) 石尾さんが作りたいたいソーミンチャンプルは、どんなソーミンチャンプルですか。
イカや貝とたくさんの野菜を入れたソーミンチャンプル。

では、書いてみましょう。



宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

漢字テストでできなかった漢字を中心に、漢字の復習をしましょう。

2. 音読

「ヤドカリ探検隊」を読みましょう。

3. 感じたことや考えたこと

* 「ヤドカリ探検隊」を読んで、感じたことや考えたことが、まだ書き終わっていない人は必ず書き上げましょう。

* 書き終わっている人は、読み直して間違っているところ、直した方がいいところを見つけてみましょう。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月		
		<p>新聞記事から 新聞記事の見出しの 違いについて考えた ことを発表しよう。</p>	<p>自分の意見を持つとう 自分の意見を発表し よう。話し手の意図 を聞き取ろう。</p>	<p>話す／聞く</p>	
<p>こんな道があつたら 町の様子を観察し、 気が付いたことや 思ったことを書こう。</p>	<p>大陸は動く 前半と後半に分けて、 書いてあることを短 くまとめよう。</p>	<p>新聞記事から 新聞記事を短くまと めよう。(要約しよ う。)</p> <p>詩を楽しもう 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。</p>	<p>やどかり探検隊 物語を読んで、感じ たことや考えたこと を書こう。</p> <p>記録しよう 心に残ったことを、 書留めよう。</p>	<p>書く</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>
<p>麦畑 情景を思いうかべな がら読もう。登場人 物の心情と情景が一 体のものでえがかれ ていることを読み取 ろう。</p>	<p>地図が見せる世界 筆者が最も言いたい ことは、どういうこ とだろう。</p> <p>大陸は動く 筆者はどんな考えで、 「大陸は動く」とい う題名をつけたのだ ろう。</p>	<p>詩を楽しもう 文語の詩を読もう。 「自分」の伝え方に ついて考えよう。</p>	<p>やどかり探検隊 主人公の気持ち进行考 え、自分と重ね合わ せて読もう。</p>	<p>読む</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み取 ろう。</p>
<p>仮名づかいの決まり 発音と違う書き方を する、言葉について 知ろう。</p>	<p>つなぎ言葉 つなぎ言葉の働きを 知り、つなぎ言葉を 使えるようになるう。</p>	<p>同じ音の漢字 同じ音を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>		<p>言葉</p>	

12月	11月	10月	9月	8月	
<p>目的を考えて話し合おう 目的にそった、有意義な話し合いにするための方法を知ろう。</p>					話す／聞く
<p>わらぐつの中の神 自分の身近な物について、それがどういうものかが読む人にかかるように書こう。</p>	<p>調査したことをまとめよう 調査したいことを決めて、調べたことを作文に書こう。</p>	<p>大造じいさんとガン 大造じいさんの気持ちの移り変わりをまとめよう。</p>	<p>身近な環境 身近な環境について調べ、わたしたちができることは何か書こう。</p>	<p>読書記録 読書記録の書き方を知り、自分の同署記録を書こう。 おみやげ 宇宙人の宿題 「宇宙人」「戦争」「現代文明」について思ったこと、考えたことを書こう。</p>	書く
<p>わらぐつの中の神様 おばあちゃんの思い出話と、その前後の現在の話を配した構成を理解しよう。</p>	<p>「その人」と出会って 筆者が手話を通して心を通わせた経験と、それにもとづいた感動を読み取ろう。</p>	<p>大造じいさんとガン 情景を思いうかべながら読もう。</p>	<p>一秒が一年をこわす わたしたちの周りで実際に起きている問題を考えよう。</p>	<p>おみやげ 宇宙人の宿題 宇宙人に目を向けた二つの作品を読み比べよう。</p>	読む
	<p>熟語を使って 熟語の読み方と意味を知ろう。</p>	<p>敬語 正しい敬語の使い方を知らう。日常生活で使っている敬語をまとめよう。</p>	<p>漢語と和語 漢語と和語について知り、意味の違いを調べよう。</p>	<p>漢字のなりたち 今わたしたち使っている漢字が、どのように作られたのか知ろう。</p>	言葉

	3月	2月	1月 (冬休み＝授業は3回)	
	朗読をしよう 一年間 学習 した物語の中で、 一番好きな作品の 朗読をしよう。			話す／聞く
	月夜のみみずく 作品全体から感じ たこと、場面ごと の印象を書こう。	リレー物語を作ろう もらった物語の続 きを書こう。 推敲をしよう 書いた作文を、よ り良い文章になる ように推敲しよう。	言葉と気持ち 自分の気持ちや意 図を相手に伝える 短い文を書こう。	書く
	月夜のみみずく 「わたし」が「と うさん」と森に 入った初めての経 験、雪の森の中で 見た世界を想像し よう。	詩の広場 うれしいときや悲 しいとき、わたし たちの心は何を感 じ、目にはどんな 風景がうつってい るのか、考えよう。	言葉と気持ち 三つの事例を通し て、筆者は何を うったえようとし たのか考えよう。	読む
五年生の漢字 五年生で習った漢 字の復習をしよう。		言葉の組み立て 複合語の意味、ど んなふうにするの か考えよう。	漢字の読み方と使い 方 言葉によって読み 方が変わる漢字を 知り、正しく使え るようになるよう。	言葉



JPN Class

Online school – 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校五年生

四月 第③週

「いいね」

「チャンネル登録」

よろしくね！

また来週。

